

安来市総合文化ホール アルテピア開館5周年記念事業



ベートーヴェン生誕250年記念

交響曲連続演奏会 Vol.5

第九

◆曲目

『エグモント』序曲 作品84

交響曲 第9番

ニ短調 作品125「合唱付」

〈指揮〉水間 満

〈演奏〉なかうみ交響楽団

〈独唱〉ソプラノ 野津美和子

アルト 森田 麗子

テノール 川西 悠紀

バス 佐々木直樹

〈合唱〉島根第九をうたう会有志

Nakaumi
Symphony
Orchestra



2022

9/19 月・祝

14:30開演
〈14:00開場〉
(16:15終演予定)

安来市総合文化ホール 「アルテピア」大ホール

入場料

一般 2,000円(当日2,500円)

全席
自由

高校生以下無料(要整理券)

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

■チケット(整理券)取扱所

- 〈安来市内〉 アルテピア、安来市観光交流プラザ(安来駅構内)、島田萬年堂、カメラのハマダ
- 〈米子市内〉 米子市公会堂、米子市文化ホール、米子コンベンションセンター、らぱん、アルテプラザ(米子駅前ショッピングセンター4F)
- 〈松江市内〉 島根県民会館チケットコーナー、井上楽器店、タカキ楽器店

主催:なかうみ交響楽団 共催:安来市総合文化ホール アルテピア
後援:島根県、鳥取県、安来市、松江市、出雲市、米子市、境港市、山陰中央新報社、やなぎどじょこテレビ、安来音楽協会

安来駅⇨アルテピア 無料送迎いたします(詳しくは裏面をご覧ください)

■問い合わせ先 ☎090-8605-1615(角)

〈新型コロナウイルス感染対策〉

マスクの着用、アルコール消毒、間隔を空けた着席をしてください。またチケットにご氏名、連絡先の記入をお願いします。出演者への花束等はお受けできないこと、ご了承ください。ホールの空気は約30分ごとに入れ替わります。



曲目解説

◆『エグモント』序曲 作品84

冒頭、F(ファ)の音が長く伸ばされます。その音はアクセント(だんだん弱く)され、続いて力強く印象的な「ザーッ・ザーッ・ザ・ザーッ・ザーッ」というフレーズが弦楽器で奏されます。まるで、これから始まる悲劇を暗示しているかのようです。

エグモント伯(1522~1568)は実在の人物で、文豪ゲーテ(1749~1832)は、その史実をもとにして、戯曲「エグモント」を書きました。そして1809年に、ウィーン宮廷劇場の支配人であったヨーゼフ・ハルトルの発案で、この戯曲にベートーヴェンが曲をつけたのでした。その中から序曲のみを演奏します。

◆交響曲第9番 ニ短調 作品125「合唱付」

日本では、毎年師走になると、全国各地で恒例行事のごとく「第九演奏会」が催されています。プロによる演奏だけでなく、県民や市民の参加が盛んであることも日本特有の現象です。もちろん島根県でも毎年開催しております。深い苦悩や孤独の先にある救いを、ひたすらに掴み取ろうとしたベートーヴェンの崇高な精神が、よほど日本人の気質に合っているのでしょうか。第4楽章で高らかに歌われる「歓喜の歌」は、今年の春、ロシアからの軍事侵攻を受けたウクライナの首都キーウにおいて、野外演奏されました。ニュースでご覧になった方も多いのではないでしょうか。この歌は、1972年に「欧州の歌」として欧州評議会が採択しており、「EUの歌」にもなっています。また、ベルリンの壁崩壊直後、1989年のクリスマスの夜に、バーンスタインの指揮で、いろいろな国のメンバーによるオーケストラとソリストと合唱団により、「フロイデ(歓喜)」を「フライハイ(自由)」にして歌われました。

第1楽章は、漠然とした虚ろな響きで開始すると、だんだんと各楽器の音が集まってきて、壮大な主題が奏されます。第2楽章は、素晴らしいリズム感とスピード感をもった魅力的な楽章です。第3楽章は、とにかく美しい。もはやこの世のものとは思われません。第4楽章は、騒然とした雰囲気をもって開始し、ついに「歓喜の歌」が登場します。私たちの精神を真に解放してくれる音楽を存分に味わってください!!

(曲目解説：水間 満)

プロフィール



〈指揮者〉水間 満

島根県出雲市出身。島根県立出雲高等学校を経て京都市立芸術大学音楽学部クラリネット専修卒業。クラリネットを朝比奈千足、村瀬二郎、村井祐晃の各氏に師事。

18歳の時から関西にある複数のオーケストラの演奏活動に参加し、各指揮者から厳しい指導を受ける。その後、神戸フィルハーモニックの団員となるが、大学卒業を機にふるさと島根に帰り、中学校の教員となる。公立中学校の校長や島根県吹奏楽連盟理事長、島根県音楽教育連盟会長等を歴任する。

現在、島根大学教育学部非常勤講師、並びに「島根第九をうたう会」オーケストラ指導部長。また、「なかうみ交響楽団」の創立当時からトレーニングコンダクターを務め、平成27年からは同団の指揮者となる。山陰クラリネットアンサンブル「ラコランジュ」並びに「アンサンブル・シエル」を主宰する。

平成26年度「島根県文化奨励賞」受賞。



〈ソプラノ〉野津 美和子

島根大学教育学部特別音楽課程(音楽科)卒業。プラバニューイヤーオペラコンサート、山陰の名手コンサート、アザレア音楽祭、「県民手づくり第九コンサートin島根」をはじめ、「フィガロの結婚」「魔笛」「秘密の結婚」「ボラーノの広場」「虹の大橋」等のオペラ作品に出演。

またソロ活動の他に2009年に結成したTre Generazioni (TreGene)としても幅広く活動中。「アルテピア・プレミアムカフェ」にも出演。

また2017年にドイツの演奏旅行に参加し好評を博した。



〈アルト〉森田 麗子

島根大学教育学部特音課程卒業。同大学教育専攻科修了。声楽を故森山俊雄、福高明也、妻屋秀和の各氏に師事。

プラバニューイヤーオペラコンサート、山陰の名手コンサート、「カルメン」「椿姫」等のオペラ作品や、「県民手づくり第九コンサートin島根」「鳥取県民による第九倉吉公演」「松江市総合文化センター開館20周年記念第九演奏会」等にソリストとして出演。

また「アルテピア・プレミアムカフェ」にも出演。令和2年度島根県文化奨励賞受賞。



〈テノール〉川西 悠紀

東京藝術大学音楽学部声楽科を卒業。第39回イタリア声楽コンクールに入選。プラバニューイヤーオペラコンサート、山陰の名手コンサート、アザレア音楽祭、「県民手づくり第九コンサートin島根」(18、21、25、30回)をはじめ、「フィガロの結婚」「椿姫」等のオペラ作品に出演。

またソロ活動の他に2009年に結成したTre Generazioni (TreGene)としても幅広く活動中。「アルテピア・プレミアムカフェ」にも出演。

また2017年にドイツの演奏旅行に参加し好評を博した。



〈バス〉佐々木 直樹

岩手県出身。東京藝術大学大学院修了。声楽を佐々木正利、故伊藤互行、多田羅迪夫、且クレッチマールの各氏に師事。藝大定期メンデルスゾーン「エア」、藝大メサイアなど、ソリストとして活躍するとともに、バッハ・コレギウム・ジャパンのメンバーとして数々の演奏会やレコーディングに参加。2003年~2006年、岩手大学教育学部非常勤講師。

現在、島根大学教育学部教授。日本声楽発声学会会員。島根県合唱連盟副理事長。

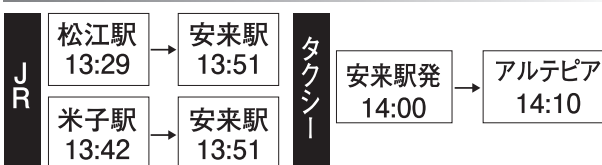


2020年 島根「第九」をうたう会 特別コンサート

〈合唱〉島根第九を歌う会のメンバーを中心に有志で結成された合唱団

安来市総合文化ホール「アルテピア」

公共交通アクセス



〔安来駅~アルテピア〕タクシー送迎(無料)いたします